

シラバス

理系科学英語夏期海外研修

履修対象

理学部・工学部・基礎工学部の1～4年生（他理系学部 of 学生も認めることがある）

開講時期

2018年8月～9月（約5週間）

目的

本科目の受講生はオーストラリアの Macquarie University で開講される約5週間の理系科学英語研修に参加する。研修では、プレゼンテーション力および英語による真のコミュニケーション力の向上に注力し、研究者やエンジニアに必要なグローバルな素養を身に着けることを目的とする。各受講生に対し、Macquarie University に学ぶ同世代の学生がメンター（Science Buddy）となり、学習や生活のサポートを行う。また、現地での滞在先は一般家庭でのホームステイとする。このように、常にネイティブの英語に囲まれることで、英語によるコミュニケーション力を向上させる。

履修条件・受講条件

50万円程度の自己負担が必要。

講義内容

事前学修

○渡航前セミナー・オリエンテーション 2018年6月～8月

渡航前に大阪大学において海外生活や英語で授業を受けるために最低限必要な予備知識、健康や安全管理、異文化コミュニケーション等について学ぶ。

[3時間（3回×1時間）]

○プレ英語レッスン

ネイティブの講師により海外生活に必要な実践的英語レッスンを実施する。

[6時間（2回×3時間の予定）]

海外研修

○Macquarie University での英語研修 2018年8月～9月（約5週間）

学部レベルの科学の講義聴講、フィールドトリップ（博物館見物など）

科学英語に特化した語学レッスン、プレゼンテーションの講義

参加者全員が科学のトピックスについて英語でプレゼンテーションを行う。

[英語研修：110時間（20日×5～6時間）、自主学習：20時間（20日×1時間）（予定）]

事後学修

○帰国後報告会 帰国後 1 週間以内

ファイナルプレゼンテーションの内容を再度英語で発表する。

[3 時間]

その他

○TOEIC の受験 ※自己負担

海外研修の効果を確認するため帰国後に TOEIC を受験しスコアを提出する。

学修時間計 142 時間

授業計画

講義内容を参照

成績評価

Macquarie University にて講義およびファイナルプレゼンテーションを修了した学生の評価を達成度に応じて現地の教員が行う。帰国後に、理学研究科の国際交流委員が審査員となり、帰国報告会を実施し、発表内容について評価する。

派遣先での成績 40%、報告会の成績 60%を併せて最終成績とする。

最終成績が 60%に満たなかった学生および帰国後 TOEIC 未受験またはスコアの提出がない学生については、原則修了単位を付与しない。